

科目名	建築構造計画				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	岡松 利彦				
内容および計画	建築物はそのものの重さ、建築物内に置かれるものの重さ、地震や風、積雪など自然の様々な力を受ける。このような力に対して建築物はどのように耐えられるように考えられているのか、荷重の種類、構造種別と構造形式、構造計画、構造設計のフローなどを概説し構造力学の基礎となる知識の習得を目指す。				
1	ガイダンス建物に加わる力とは、構造計画の基礎知識-1と構造デザインについて。				
2	建物に加わる力とは、構造計画の基礎知識-2と物の構造について-1。				
3	荷重(固定、積載、地震、風、積雪など)と長期荷重、短期荷重について-1と物の構造について-2。				
4	荷重(固定、積載、地震、風、積雪など)と長期荷重、短期荷重について-2とモノに働く力と材料の関係について-1。				
5	構造種別と構造形式(木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、その他構造)について-1と演習。				
6	構造種別と構造形式(木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、その他構造)について-2とモノに働く力と材料の関係について-2				
7	木造の性質と構造形式(在来、2×4、大断面集成材、その他混構造など)について-1とモノに働く力と材料の関係について-3。				
8	木造の性質と構造形式(在来、2×4、大断面集成材、その他混構造など)について-2と建物を構成する構造について。				
9	鉄骨造の性質と構造形式(ラーメン、立体トラス、ハニカム、その他)について-1と色々なものでつくられたかたちについて。				
10	鉄骨造の性質と構造形式(ラーメン、立体トラス、ハニカム、その他)について-2と演習。				
11	鉄筋コンクリート造の性質と構造形式(壁、ラーメン、スラブ、その他)について-1とさまざまな構造物の形について-1。				
12	鉄筋コンクリート造の性質と構造形式(壁、ラーメン、スラブ、その他)について-2とさまざまな構造物の形について-2。				
13	構造設計のフローと仮定断面の求め方。基礎の設計、杭、地盤について。				
14	建築デザインと新しい構造の今後。災害から守るための工夫と構造法規について。				
15	演習と発表・講評。全体のまとめ。				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『世界で一番やさしい建築構造(最新改訂版)』	江尻 憲泰	株式会社エクスナレッジ(建築知識)	9784767828145	2020
他必要に応じて配布					
参考書	羽根義男著『図解雑学構造力学』(ナツメ社)、 建築図解事典編集委員会編『図解事典建築のしくみ』(彰国社)、 『建築教室～生きのびる子供たちのために』(INAX出版)、 『蜂は職人・デザイナー』(INAX出版)				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	出席状況(受講態度含む)				40
	演習・課題の内容及び提出状況				40

定期試験	20
<b>学習到達目標</b>	建築構造計画の知識の習得に加え、他分野にも関連した内容を盛りこみ、色々なデザインの関連性が理解できる授業にしていく。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：アトリエ系の建築設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立する。 住宅、工場、店舗、保育施設、相撲部屋などの設計に25年以上従事してきた。一級建築士としては、15年以上の経験を有する。 この経験をもとにインテリアデザイン、建築デザイン、建築構造デザインの基礎、応用について教授する。
<b>その他</b>	